令和3年度　保育園の自己評価

赤道あおぞら保育園

○ 評価 ･･･次の基準によって、評価欄に3･2･1と記入する。

3 ･･･ おおむね達成できている

2 ･･･ 具体的に実施しているが、成果が出てきていない

1 ･･･ 具体的に実施していないため、成果も出ていない

1、 保育の理念･保育観

	項　　目	評価
1	保育士、職員全員の一人一人が赤道あおぞら保育園の理念や目的に基づいて子ども達が実体験し、自己肯定感を高められるように取り組んでいる。	2
2	保育士一人ひとりが自己評価を行い、その問題解決のために向上心を持って取り組んでいる	2
3	すべての子どもについて、一人ひとりの存在とその人権を尊重している	3
4	児童福祉法の理念に基づいて子どもの生活と健全な発達を保障することが、保育園の重要な使命であると理解しています。	3
5	今日の保育園には、入園している子どもの保育だけでなくひろく地域の子育て支援をする、社会的役割があることを意識している。	3
6	障がいを持つ子も持たない子も、一人ひとりのありのままの姿を受け止め、健やかに成長することを願って保育を行っている。	3
7	保育園の保育が、子どもの生涯の基礎を培う極めて大切な役割を担っていると認識している。	3

2、保育計画･指導計画

	項目	評価
1	保育指針のねらい及び内容が、達成できるような保育課程や保育計画になっている。	2
2	保育計画に基づき、子ども一人ひとりの発達の姿や興味の対象の実態を把握して、月･週･日案などを作成している。	2
3	子どもの意欲を誘い、発達に必要な経験が得られるような環境構成が十分されている。	3
4	職員間で｢子ども理解｣を深め、お互いの考えを十分に理解した上で保育を行っている。	3
5	月･週･日案などが実際の子どもの姿･興味･関心にあっていたか、という点から自分の保育を評価･反省している。	3
6	食について保育士と給食従事者が意見交換の場を持ち、連携して食育活動を行っている。	3
7	献立に旬の食材を取り入れ、ほぼ100%を手作りしている。	3

3、日程・行事について

令和3年度

	項　　目	評価
1	1日の流れ（ディリープログラム等）は現行でよい。	3
2	行事の種類や実施回数は適切である。	1
3	計画・実施・評価・改善の体制をとっている。	3
4	保護者の願いや意見を取り入れている。	3

4、保健・安全指導

	項　　目	評価
1	避難訓練・交通安全指導を計画に基づいて適切に実施している。	3
2	健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っている。	2
3	不審者に対応する周到な配慮を行っている。	2

5、 保育園の職員構成・役割分担・研修

	項　　目	評価
1	園長や主任の園務分掌がはっきりとしていて、それぞれの仕事を責任を持って行っている。	3
2	豊かな集団の育成を目指したクラス運営が進められ、各クラスの連携が進められ、各クラスの連携が円滑に行われています。	2
3	危機管理意識を持ち、、緊急時に対応できる体制が整えられている。	2
4	園内研修は、計画的に実施されている。	3
5	各種研修会の内容を園内に還元している。	2
6	保育に関わる様々な知識や技能の向上に努め、悩みや疑問を解決するため、研修に参加したり専門書を読むなどして自己研鑽している。	3

6、事務管理　運用

令和3年度

	項　目	評価
1	子どもの個人記録は、個人情報保護法に基づいて管理している。	3
2	職員に園内で知りえた事柄に対しての守秘義務を周知徹底している。	3
3	帳簿類は、適切に記載し、整理保管している。	3
4	定期的(毎日)に施設設備・遊具等の安全点検を行っている。	3
5	園運営が円滑に行われるように適切に予算を執行しています。	3

7、開かれた保育園

	項　目	評価
1	小学校と連携し、交流する機会を持っている。	1
2	園庭の開放・子育ての情報の発信をし地域社会に開かれたものになっている。	1
3	老人ホームを訪問し、お年寄りと園児のふれあいの場を大切にしています。	1
4	子どもの心身の発達や育児不安等について、気軽に相談出来るように育児相談や専門機関との連携を取りながら行っている。	3
5	園生活の子どもの様子を保護者や地域社会に積極的に伝えています。	3

令和3年度　　　園評価から見えて来る課題

赤道あおぞら保育園

1、保育の理念・保育観

①保育理念について、園内研修のテーマにし、クラスごとに勉強会
を行うなどしていく。

2、保育計画・指導計画

③保育計画を立てるが、実行に移すことが難しかった。
子どもの個々の発達の様子や興味の対象などをしっかり把握して
クラスミーティングを行い、職員間の共通理解を深め、保育計画を立て
子どもにとってより良い保育を考えていく

3、日程・行事について

②今年度も、新型コロナウイルス感染拡大のため、計画をした行事が中止せざるを得なかった。
規模を縮小して行えるものについては、工夫しながら行った。

4、保健・安全指導について

③不審者が入ってきた場合の用意が不十分なため、さすまた等を設置する

5、保育園の職員構成、役割分担・研修会

③緊急時に対応できるよう、日頃から、ひとりひとりが危機管理意識を持ち、役割分担についても
把握しておく。

⑤研修会の報告についてはコロナ感染拡大防止の観点から一同に集まっての報告会が行えなかった。
研修会に参加した際の報告書を回覧し、全体に内容を知らせていく方法をとった。
次年度はコロナ感染状況を見ながら、研修会参加後に報告会を計画して行う

7、開かれた保育園

①、②、③
今年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、ほとんど中止だったため、
取り組みが、難しかった。